

# 福祉・介護サービス従事者のキャリアパス・モデル 及び研修体系検討委員会まとめ

## 1 経過

今後さらに拡大する福祉・介護ニーズに対応できる質の高い人材を、安定的に確保していくためには、キャリア形成やキャリアパスの構築の必要性が指摘され、それに対応した生涯研修体系を形成するとともに、従事者に対する研修等の充実を図ることが必要とされている。

このことから、平成 22 年度から「キャリアパス・モデル及び研修体系検討委員会」を設置し検討を行ってきた。

## 2 検討委員会

福祉施設等の種別団体、福祉及び医療の資格団体、教育関係機関、行政、社会福祉協議会、学識経験者等によって構成し、検討委員会及び作業部会において検討を行った。（委員 13 名）

## 3 見直しの方向性

- (1) 長野県委託研修の社会福祉研修事業は、キャリアパス・モデルに対応し、原則として職階層毎に全ての職員の受講を奨励する『福祉職員生涯研修』として、平成 24 年度から再編成する。
- (2) 福祉職員生涯研修は、職階層毎に共通な基礎的な知識・技能を習得するとともに、個別テーマについては、選択して受講するものとする。
- (3) 従来あった種別による研修科目は、種別協議会や職能団体等の研修事業において取り組まれているところが多いため、県及び本会は受講者への情報提供等の役割を担う。
- (4) 全社協では、来年度から「キャリアパス対応型生涯学習課程」をスタートさせ、全国統一の枠組みづくりを目指している。このことから、平成 24 年度から実施する本県の福祉職員生涯研修は、全国の動向を見ながら、必要と判断する場合は、全社協準拠の内容に拡充できるよう組み立てを行う。

## 4 見直しに伴う福祉研修実施機関・団体への支援

福祉・介護サービス従事者等への研修事業を実施する福祉研修実施機関・団体の役割が高まるのに対応して、研修情報の集約、統合的情報発信においての支援を行う。

### (1) 福祉研修実施団体連絡会の開催

研修事業を実施する種別協議会や職能団体等が、研修計画作成における研修内容や研修運営の効率化等について協議を行う。

### (2) 「福祉研修ガイドイン長野」の発行

本会の福祉職員生涯研修事業及び福祉研修実施機関が行う研修情報を集約、整理し、福祉事業所や福祉団体等に研修案内を行う。

### (3) 福祉研修実施機関共同ホームページ「きやりあねっと」の開設

研修情報を集約・整理し、希望する福祉職員が情報を得やすくするとともに、研修受講履歴の自己管理のできる機能を提供する。